

**平成28年度  
第1回地域振興会議会長会議事概要**

日 時：平成28年8月8日(月) 14時00分～15時45分  
場 所：市役所本庁舎6階全員協議会室

〔本庁関係〕2名

深澤市長、久野地域振興局長

〔各地域振興会議〕16名

会 長：森原会長(国府)、南部会長(福部)、竹田会長(河原)、谷村会長(用瀬)  
上田会長(佐治)、池長副会長(気高)、田中会長(鹿野)、高橋会長(青谷)

総合支所：安本国府支所長、宇山福部支所長、窪田河原支所長、田中用瀬支所長  
小谷佐治支所長、鈴木気高支所長、徳岡鹿野支所長、山本青谷支所長

〔事務局〕4名

地域振興局地域振興課：竹氏次長、増田課長補佐、竹森主事、平井主事

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域の課題及び進捗状況について
- 4 その他
- 5 閉 会

# 議 事 概 要

## 1 開 会 ( 1 4 : 0 0 )

## 2 市長あいさつ ( 1 4 : 0 1 )

## 3 地域の課題及び進捗状況について ( 1 4 : 0 5 )

### 国府地域振興会議 森原会長 ( 1 4 : 0 5 ~ 1 4 : 1 2 )

十王峠県・市有地利活用について

20年前に買い取った産廃処理施設敷地28haについて、活用できないかとの意見が出ている。7月の地域振興会議の際の現地視察を踏まえ、次回の地域振興会議では委員の意見集約をしたい。

いきいき成器保育園、扇の里交流館(上地)、美歎水源地、岩美広域農道について

それぞれ視察を行った。次回の地域振興会議で地域課題として意見が出ると思う。

### 福部地域振興会議 南部会長 ( 1 4 : 1 2 ~ 1 4 : 2 4 )

総合支所耐震化整備について

地域振興会議と区長会で検討した結果、地域としては、支所の耐震改修及びコミュニティセンターの移転複合化の方向でまとまった。については基本設計のため平成28年9月補正予算をつけていただく等、早急に整備を進めてほしい。

駟馳山バイパスについて

平成26年3月に開通し鳥取・岩美間は非常に良くなったが、土地を提供した福部町民にとっては大変使い勝手が悪い。以前にも要請しているが、福部町内にもう一つICを設置し、利便性の良いバイパスにしてほしい。市からも国県への要望をしていただいているが、引き続きよろしく願います。

福部未来学園について

平成28年4月に幼小中一貫校である福部未来学園がスタートした。現在の校舎は離れているが、増改築等を行い平成30年4月には一つの校舎で学べるよう計画されている。当学園の施設面での特徴は、園児から中学3年までの園児・児童・生徒が全員揃って給食や集会のできる多目的ホールが設置されることである。整備は順調に進んでおり、引き続きよろしく願います。

また平成30年度に計画されている中学校特別教室の改修、駐車場・テニスコートの整備についてもぜひともよろしく願います。

現在当学園のグラウンドは雑草が中心部まで生い茂っている状況であり、新しい土に入れ替える等の整備についてもよろしく願います。

岩美広域農道について

上野集落は非常に不便な集落であるが、来年3月の広域農道の全線開通により救急車両の通行が容易になる等便利になる。上野集落には高齢者が多いので、移動販売車や移動図書館車があればさらに便利になるため、これらの支援を願います。

### 河原地域振興会議 竹田会長 ( 1 4 : 2 4 ~ 1 4 : 2 8 )

可燃物処理場について

7月25日に国英地区と東部広域行政管理組合の間で協定が結ばれた可燃物処理場については速やかに進めてほしい。地域振興会議としても今月30日に京都のクリーンセンターへの視察を予定している。

企業誘致について

(株)ササヤマ、(株)イナテックの竣工で山手工業団地は概ねできあがってきたが、今後は地元企業との関係も重視しながら誘致を進めてほしい。県外企業の求人は給料水準が高く地元企業との人材の取り合いになる。今まである企業に対しても支援をしてほしい。

総合支所整備について

河原支所は、現庁舎を取り壊して、第2庁舎へ移転する方針を決めている。できるだけ早い実現を願います。

### 用瀬地域振興会議 谷村会長 ( 1 4 : 2 8 ~ 1 4 : 3 6 )

用瀬地域保育園の整備について

保育園の合併については、地域の合意を得ながら進められており、平成31年4月の開園が予定されている。

保育園跡地3カ所の活用については、地域振興会議でも検討するが市としての検討もお願いする。

総合支所耐震化整備について

地域振興会議として検討しているが、9月にでも方向性を出したい。方向性がまとまった際には整備についてよろしく願います。

防災行政無線の平成31年度のデジタル化に伴う地域・行政情報の伝達について

高齢者への配慮や確実な伝達手段となる地域情報設備の維持・確保をお願いする。

その他

交通、空き家、鳥獣被害、農産物生産額の減少の問題等もある。

### **佐治地域振興会議 上田会長（14：36～14：46）**

小さな拠点モデル促進事業について

町人口は、平成16年の合併直後から現在では27%減少するとともに、高齢化率も44%となっており山林や農地は荒廃し災害リスクが増えている。この地域に住み続けることができる地域運営の仕組みづくりの必要性が地域振興会議で話し合われた。積極的に参画する助け合いシステムや交通の構築が必要とのことで意見が一致している。

財産区事業による収益金の使途改善について

27集落に財産区有の山林があり、当初の目的は、山林伐採で得た収益を各集落施設整備費用等各投資的経費の一部に充てることだった。しかし現状は、収益金があっても地元の集落のために使用できず、財産区の山林の管理意欲が減退し、いずれ荒廃が進むことが懸念される。収益金の使途改善を検討してほしい。

鳥取市公共施設再配置基本計画について

計画に沿って施設を整理する際には、利用者や地元住民に十分周知してほしい。人口減や利用者減少により公共施設を集約するという方向性は否定しないが、削減ありきでは困る。平成26年10月からは、佐治町公共施設検討会議を立ち上げ、町内の公共施設の在り方や活用方法について公開により様々な議論を進めてきた。市としてもこの会議の意向に沿った再配置を進めるよう理解・協力をお願いする。

### **気高地域振興会議 池長副会長（14：46～14：50）**

気高町総合支所の火災、今後のあり方について

6月29日に発生した支所火災については、多くの町民が不安や戸惑いを感じた。地域振興会議では支所の耐震化整備について2つの案で検討しているが、この実情を踏まえ、各種災害に対応できる拠点としての十分な設備をお願いするとともに、情報公開を徹底し住民との相互理解のもとに早期着工をお願いする。

### **鹿野地域振興会議 田中会長（14：50～14：58）**

小中一貫校の推進について

小中一貫校の推進について推進委員会を立ち上げ検討に入ったところである。鹿野には引っ込み思案な子どもが多いことから、独自教科として「表鷲（あrawし）科」の新設が検討されている。鳥の劇場の劇団員や東京から移住した農業者も参加されている。鹿野に中学校が残ることが地域の強い願いであるため、「学校応援団」を組織し中学校などと連携した学校づくりを進めている。

公共交通の整備について

今年4月からバス路線「宝木 - 河内線」が廃止され、循環バスが新設されたが、朝外出したら夕方まで帰れない時刻設定であるため不便である。運転免許証を返納された利用者も多くあり、公共交通の利便性の向上については是非検討してほしい。

### **青谷地域振興会議 高橋会長（14：58～15：05）**

青谷高校の存続について

県教委は、平成37年までは高校の統廃合はしないとの方針を出してはいるが、地域の生徒や保護者にはこのことが浸透していないため、今年4月に気高・鹿野・青谷の各小中学校のPTA総会で説明を行った際に、青谷高校が廃校になると勘違いしている人もいた。

校風に魅力がないと生徒も集まらないため、コーディネーターを設置したいと考え、先日コーディネーターを置いて成功している岩美高校を視察してきた。この取組にかかる市の財政的な支援をお願いする。

委員提案について

今年の地域振興会議では委員提案に注力しており、10次総や青谷版総合戦略を踏まえて、毎回提案を求

めている。次回の会議では「青谷町の福祉問題」と「伝承産業の後継者問題」について委員2名から提案される予定。

卓球のまちの復活について

青谷地域では「卓球のまちの復活」というキーワードで頑張っており、来月には青谷高校の生徒とOBによる卓球教室を、11月には県内外の強豪中学校の招へいによる青谷オープンを開催予定。また今夏には青谷高校の卓球部員がIHに出場し、また一般では全日本クラブ大会で青卓クラブがベスト16に入るなど復活の兆しが見えた。

### 【市長による回答・意見】(15:05~15:38)

- ・「総合支所の耐震化整備」については、各地域振興会議等で議論いただいているところだと思うが、基本的には耐震性に急を要する支所を優先して整備を進めていきたい。
- ・気高支所については、火災発生ということもあり、第2庁舎を活用して出来る限り優先して進めていきたい。

#### <国府>

- ・「十王峠県・市有地利活用」については、なかなか今すぐの対応というのは難しいが、地域振興会議での議論や地域の意見を尊重しながら一緒になって取り組んでいきたい。

#### <福部>

- ・「駒地山バイパス」については、従来から県に要望をあげているが感触は悪くないと感じている。
- ・「福部未来学園」については、地域の皆様の協力により開園することができた。平成30年には施設一体型の校舎で学ぶことができるよう整備を進めていく。グラウンド整備については外構工事の中での整備を計画したい。
- ・「岩美広域農道」については、整備まで本当に長い時間がかかったが、ようやく開通となる。

#### <河原>

- ・「可燃物処理施設」については、地域の皆様の理解と協力により、東部広域、市町と国英地区全集落による調印式で基本協定書が締結された。今後も地域の皆様と協議を重ねながら進めていきたい。地域振興会議での京都市北部クリーンセンターの視察について、地域の皆様の姿勢に感謝する。安全・安心な施設にするとともに工事期間の短縮を図りたい。
- ・「企業誘致」についての今後の課題は人材の確保であり、大学生や鳥取出身の県外者にも声をかけることが必要である。地元の企業が求人について給与面で誘致企業に引けを取らないよう、今まで以上に地場産業の支援についても力を入れていきたい。企業誘致ばかりクローズアップされるが、地場産業の底上げのためにもいろいろ支援をしているが、必要に応じて考えたい。誘致企業と地元企業の相乗効果による地元経済の活性化に期待したい。

#### <用瀬>

- ・「用瀬地域保育園の整備」については、用地取得を具体的に進めていくが、保育園跡地の活用の課題については、地域振興会議でも議論いただきたい。
- ・「防災行政無線」については、防災無線のデジタル化、Jアラートなど一斉に整備が進められる中でも、地域情報の伝達は全市共通の課題と認識している。人口減少していく中で大切な手段であり、研究・検討している。
- ・地方創生が注目されているこの機会に農林水産業を守り育てることに引き続き力を入れて取り組む。

#### <佐治>

- ・「小さな拠点モデル促進事業」について、助け合いの仕組みづくりが大切と考える。地域包括ケアシステムを含めた新しい支え合いの仕組みを鳥取市から作り上げていけたら素晴らしい。
- ・「財産区」については、条例でいろいろ規定されているところもあるのでなかなか難しいが、個別具体的に相談してほしい。
- ・「公共施設の再配置」については、削減ありきではない。すべての施設の建て替えはできないが、財政面を考えつつ進めていきたい。

#### <気高>

- ・「総合支所の耐震化整備」については冒頭申し上げたとおり。

- ・先週は貝殻節まつりがあり、地域の皆様のご協力のもと、大変盛り上がったと聞いている。

#### <鹿野>

- ・「公共交通の整備」については、利用されないから便がなくなる、便がないから利用しないといった悪循環がある。地域によってはNPO法人が小型バスを運行している。移住者の方とストリートミーティングを行った際も公共交通が不便という意見を聞いており、公共交通の維持・確保について抜本的に真剣に考える必要がある。

#### <青谷>

- ・「青谷高校の存続」について考えていきたい。
- ・「卓球のまちの復活」について、成果も徐々に出てきているようであり期待したい。
- ・「委員提案」について、住民目線での検討をお願いする。

#### <その他意見>

(青谷 高橋会長) 西ブロックで合同会議を開催し、青谷町が当番で道の駅等について検討した。  
(用瀬 谷村会長) 南ブロックも7月に合同会議を開催した。

(河原 竹田会長) 可燃物処理場の整備において、合併特例債は使えるか。  
(深澤市長) 規制解除や埋蔵文化財の関係もあるので取り組めることから進めている。有利な財源として活用していきたい。

#### 4. その他 (15:38 ~ 15:44)

(用瀬 田中支所長) 「2016もちがせふれあいフェスティバル」について  
(気高 鈴木支所長) 「鳥取市西いなばようこそスタンプラリー」について  
(鹿野 徳岡支所長) 「第23回BeSeTo演劇祭」について  
(青谷 山本支所長) 「あおいち」について

#### 6. 閉会 (15:44)

(会長会終了後、県立博物館より「県立美術館建設の取組状況」について説明)